

令和7年度 学校経営の方針

山形市立西山形小学校

1 学校教育目標

「たくましい心と体を持ち、進んで学び、郷土を愛する子ども」の育成

《短・中期的にめざす具体的な子どもの姿》

これからの社会の担い手として必要な学力や資質・能力を持ち、
西山形地区に生まれ育ったことを「誇り」に感じている子ども



【めざす子ども像】㊦㊧㊨っ子：友と学び合う子ども・感動できる子ども・未来を生き抜く子ども

2 経営の方針 ※（3）を重点として

地域の教育力を生かし、広がりのある体験・学びができる一人一人が主役の学校づくり

- （1）五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。
- （2）「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。
- （3）西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。
- （4）今後隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。
- （5）教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

3 教育目標の具現化のための主な活動

（1）五感をはたらかせた体験・学びを充実させていく。

（2）「少人数のよさ」を生かし、一人一人の探究的な学びを充実させていく。

①「いのちの教育」の推進

- 人には「ちがい」があることを学ばせる。そのため、「ちがい」を認め合える温かい関わりのある学級づくりを、特に1学期、じっくり腰を据え、時間をかけ、丁寧に取り組んでいく。
 - ・具体的な学級目標と評価（上期・下期）
 - ・日頃の確かな見取り
 - ・いじめアンケート（6月、10月）
 - ・Q Uアンケート（5月）
- ジェンダーフリー化の推進・多様性を大事にする心の醸成
- 「自己有用感」をもたせることを軸にした「自己肯定感」の育成
- 特別な教科「道徳」の授業の充実と個人内評価の工夫

②基本的な生活習慣の定着と体力づくり

- すっきりとして生活リズムがとりやすい週時程の創造
- 早寝、早起き、朝ごはんの定着化
- 電子メディアコントロールデーの習慣化
- 運動の奨励（外遊び、縄跳びなど）

③基礎基本の定着

- | | | |
|---------------|--------------|------------|
| ■個別最適な学びの研究 | ■探究型学習の推進 | ■ICTの積極的活用 |
| ■プログラミング教育の推進 | ■N I E 教育の実践 | ■家庭学習の習慣化 |
| ■自由進度学習の実践 | | |

④感性の醸成

- 「想像する場面」の意図的な設定
- 自然体のあいさつの習慣化（お客さま・地域の人）
- 読書指導の充実（週4日の朝読書）・**ききみみの会**との連携
- 歌声が響く学校、児童会（心と身体の解放・心を合わせる・他を意識する）
- 掲示による「豊かな感性の醸成」

⑤授業における多様な表現・発表・発信機会の充実

- 単元のまとめや発表会
- 学習発表会
- 学習成果の掲示

⑥異学年が交流・協力して取り組む活動の充実

- 縦割り遊び
- 1年生を迎える会
- 縦割り活動
- 清掃
- 春季大運動会
- カルタ大会
- 6年生を送る会
- 学習発表会
- 児童会

⑦特別支援教育の充実

- 教育相談（迅速な対応）や職員研修の充実
- 子どもを語る会の充実（定期、適宜）
- 外部講師による研修

（3）西山形地区の豊富な人材・豊かな自然・唯一無二の歴史・伝統を、最大限に生かしていく。

①各教科における地域素材の教材化 教科・総合的な学習の時間・クラブ活動の充実

- 地域素材の更なる開発と蓄積（総合的な学習の時間等、本校独自のカリキュラムの創造）
- 子どもも教師も学びの足跡を残し、地域を「誇り」に感じる心を醸成

②PTAとの連携

- ホタル鑑賞会（R7・8休止）
- 親子行事・講演会など
- 外部指導者として

③地域との連携

- 地域学校協働活動推進員やとかみ学習支援コーディネーターの協力
- 地区行事への参加
- 地域ネットワークの活用

（4）隣接するコミュニティセンターや学童クラブ等と連携し、それらにつながる学習を実施していく。

①広がりや深まりのある活動・学習の研究と実践化

- 外国語やICTなど
- クラブ活動など
- 長期休業の課題

②学校で行われている学習の積極的な情報発信と情報交流

- 学校だより（地区は回覧で）
- 学校ホームページ
- 地区民が来校する機会を設定
- 各種外部団体との連携会議（地区振興会・学童クラブ・民生児童委員など）

（5）教職員が集中して学習や活動の準備ができるように、共通理解を図りながら組織および環境を整えていく。

①必要不可欠な会議・打合せを行うとともに、業務の更なる精選・見直しも模索していく。

- 議論・共通理解が必要なものと、打合せで済むものの識別化を図る。（会議の内容の計画化）
- 保護者や外部の方との活動の際は、特に丁寧に打合せを行う。

②家庭への連絡・連携の効率化・厳選化

- 授業参観、学級懇談、個人面談（通知表配布）、学校ホームページ等の内容の充実
- 各種おたより等の厳選化への理解・協力依頼

③これからの教育を担える新校舎の有効活用の推進

- 周辺の施設とのコラボ（自然の家 西公園 整備中の西部グラウンド）**
- 旧校舎跡地の利活用検討＋キラキラランド（R7・8は休止）の利活用検討**